

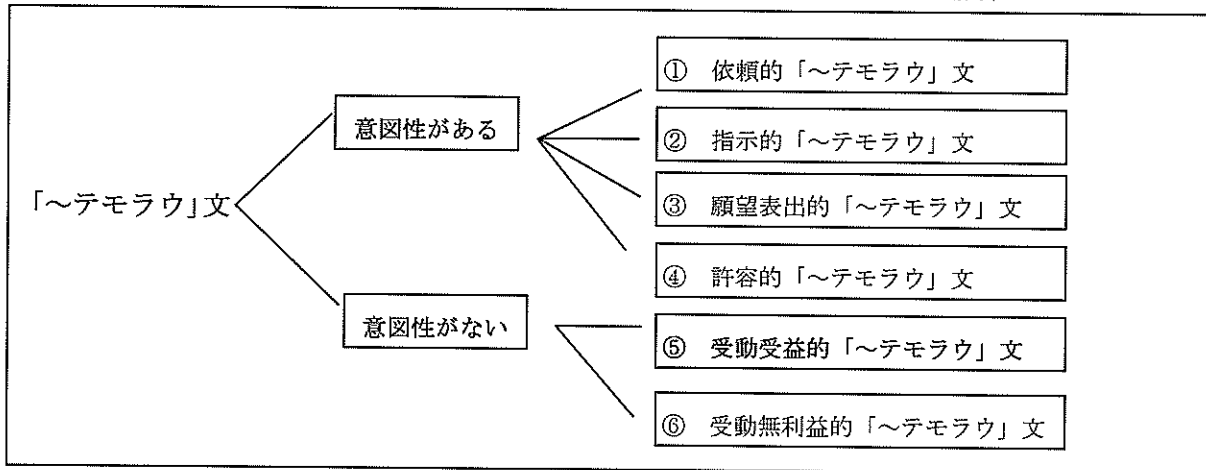
受動受益的「～テモラウ」文とそれに対応するタイ語の表現

Sirilak SUJIWARODOM

1. はじめに

日本語には相手の行為によって恩恵を受けた事を表す「～テモラウ」文がある。本稿では山田(2004)、李(2001)等の指摘を援用し、「～テモラウ」文⁽¹⁾を図1のように意図性がある場合とない場合という2種類に大別する。前者は更に4つに、後者は2つに下位分類される。本稿の考察対象は、このうちの意図性がない受動受益的「～テモラウ」文である。

図1 「～テモラウ」文における意図性がある場合とない場合



意図性がある場合：

- ①依頼的「～テモラウ」文：友達に図書館から本を借りてもらった。
- ②指示的「～テモラウ」文：スピード違反は2万円の罰金を支払ってもらうことになっている。
- ③願望表出的「～テモラウ」文：全ての人間に幸せに生きてもらいたい。
- ④許容的「～テモラウ」文：折角本人もやる気になってるのだからそのままやってもらおう。

意図性がない場合：

⑤受動受益的「～テモラウ」文：先生に褒めてもらってとてもうれしいです。

⑥受動無利益的「～テモラウ」文：そんないい加減なことをしてもらっては困るんです。

本稿は受動受益的「～テモラウ」文に関して再検証した上で、それに対応するタイ語表現について日タイ対訳の書籍の用例を用いて考察し、両言語の対応関係や相違点を論じる事を目的とする。

2. 先行研究

「～テモラウ」文の日タイ対照研究としては江田(1982)、田中(2004)等の指摘がある。江田(1982)

では日本語の「～てやる・てくれる・てもらう」に対応するhâiの用法に注目してタイ語の表現を考察し、「～テモラウ」文に対応する表現は「動詞のみ」「動詞+hâi」「hâi+動詞」だとしているが、用例はほとんど依頼的な意味を持つものである。田中（2004）では、「～テモラウ」文に対応するタイ語の表現として、①動作行為の与え手側と受け手側の変換②使役助動詞「hâi」③「dâiráp」④「khǎo」「khǎo hâi」という4形式を指摘している。これらの4形式では、②と④は、働きかけ性を持つ依頼的および指示的な場合に対応するタイ語表現に当たり、①と③は本研究の対象とする受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語の表現だと考えられる。

先行研究で考察された「～テモラウ」文は、働きかけ性を持つ依頼的「～テモラウ」文がほとんどであり、両言語における意味・用法についてはまだ十分な解説は行われていない。本稿では、多義的な「～テモラウ」文の中であまり分析の進んでいない受動受益的「～テモラウ」文に注目し、意味と用法を再確認した上で、先行研究に取り上げられたタイ語の形式の他に、どんな形式が使われるかを更に詳しく検証する。更に「～テモラウ」文の前項動詞によって対応するタイ語表現は異なると考えられる。この点については先行研究では触れていないので、記述を試みる。

3. 受動受益的「～テモラウ」文

3.1 意味的な特徴

「～テモラウ」文の中で、受け手が与え手に働きかけを行って動作を引き起こすのではなく、与え手の意志によって行われる行為を受け手が恩恵的に受け取る事を表すものを受動受益的「～テモラウ」文と呼ぶ。

- (1) 「前略、野球が好きな、やんちゃな男の子です。あなたにルートというあだ名を付けてもらいました。頭のとっぺんが、平らなんです」(博士：214)⁽²⁾
- (2) 「そう言ってもらえると嬉しいね」(忙しい：105)
- (3) 「一緒に、頑張りましょう」エレベータに乗る際に、そう声をかけてもらった。(五：172)
- (4) おかげで、真子からも「美加にしちゃいいセンスだ」と、誉めてもらったが。(ふたり：78)

3.2 文法的な特徴

3.2.1 受け手と与え手の制約

第一に、主語位置に置かれる受け手も、二格またはカラ格で表す与え手も一般的には人間である。人間以外の、動物や自然現象のような無情物は取りにくい。高見（2003：96-101）は「～テモラウ」表現は利益とともに感謝の表明であるために、二格名詞が無生物であり、当該の事象が受益者のために行われない場合は、不適格となりやすいが、利益の意味を明白にすれば適格性が高くなるとしている。

- (5) 朱鷺のひなに生まれてもらったおかげで、町としても活気づいた。(山田 2004：66)

(6) 沿道一面に見事な桜の花が咲き誇ってもらい、花見の人たちは、春の美しい一日を満喫していた。(高見 2003 : 98)

(5) と (6) のようにそれぞれ動物や自然現象の無情物が与え手の場合は、実例があまり見当たらず、適否の判断に個人差もある。この場合は「～テモラウ」文を使用するよりも動作主の制限がかからない「～テクレル」⁽³⁾ 文を使用すべきであろう。与え手の性質は受動受益「～テモラウ」文と「～テクレル」文の使用判別において大きな要因となる。

第二に、「～テモラウ」文の話し手の視点はガ格の受け手にある。そのため、受け手と与え手には人称の制限がかかる。つまり、主語すなわち受け手は、第一人称(話し手)またはその身内の人、与え手は第一人称(話し手)またはその身内以外の人でなければならないということである。受け手と与え手の間の人称関係は下の表 1 のようにまとめられる。

表 1 「～テモラウ」文における受け手と与え手の間の人称関係

受け手 (ガ格)	第一人称	第二人称	第三人称
与え手 (ニ格/カラ格)	第二人称/第三者	第三人称	第三人称

(7) *山田さんは私に本を買ってもらった。

(8) *鈴木さんは妹にご飯を奢ってもらった。

(7) が不適格な理由は、与え手が第一人称の話し手となっていることである。一方、(8) では与え手、受け手とも第三人称であるが、与え手の「妹」が受け手の「鈴木さん」よりも話し手により近い存在であるため、人称制限に反するので、不適格となる。

3.2.2 前項動詞の特徴

原則的には、与え手が受け手のために恩恵を与える意志的な動作なので、前項動詞は意志動詞が要求される。ただし、無意志動詞が使われることもある。(山田 2004 : 66)

(9) 5 時頃になってやっと子供にも遊ぶことに飽きてもらって、帰ることができた。

(10) 娘には、いい男に巡り会ってもらって、親としても一安心だわ。(以上、山田 2004 : 66)

(9)、(10) のような無意志動詞と結合する場合は、実例が少なく、適否の判断に個人差が生まれやすい。与え手の意図性に関わらない行為・事態の場合は、「～テクレル」文を使用すべきである。

4. 受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語表現

4.1 考察の資料

両言語を対照するにあたっては、日本語の小説 7 冊とそのタイ語版翻訳書 7 冊を用いて、受動受益的「～テモラウ」文はタイ語にどのように訳されているかを検証した。用例の出典については、用例の後ろの括弧の中に示す。先行研究以外の用例で出典がないものは著者の作例である。

日本語の小説 7 冊と日タイ辞書から抽出できた受動受益的「～テモラウ」文は僅か 18 例しか発見されていないが、傾向として対応するタイ語表現は下の表 2 の通りである。

表 2 受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語表現

対応するタイ語の表現	用例の数
「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」	5
「Y+動詞 hâi X」	4
「単一動詞のみ」	9

受動受益的「～テモラウ」文では既に先行研究で触れられている「X dâiráp+動名詞càak+Y」形式と「Y+動詞 hâi X」形式が対応すると考えられたが、今回、集めた資料から見ると、その他に、「X dâiráp+名詞/動詞 càak+Y」と「単一動詞のみ」形式などとの対応関係が認められた。本稿では、既に先行研究によって指摘された「X dâiráp+動名詞càak+Y」形式と「Y+動詞 hâi X」形式を踏まえつつ、より詳しく使用の特徴を解明し、まだ考察されていない「X dâiráp+名詞/動詞 càak+Y」と「単一動詞のみ」形式について検討を行う。

4.2 「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」

日本語の本動詞「モラウ」に対して、タイ語では「dâiráp」という本動詞を対応させて用いる事が多いが、補助動詞の「～テモラウ」文の場合も、「dâiráp」を用いる事がある。しかし、使用範囲が限定されており、全ての場面で用いられるとは限らない。受動受益的「～テモラウ」文に対応する「dâiráp」形式は、田中（2004）によって既に指摘された「X dâiráp+動名詞 càak+Y」の他に、「X dâiráp+名詞càak+Y」「X dâiráp+動詞càak+Y」形式も見られる。

- (11) 団体のメンバーに入れてもらってはいたけれど、きみはいわゆる「おみそ」選手だった。

(いま：105)

thǔŋmɛɛ thəə cà dâiráp kaan khátlúak hâi khâwrúam thiim nákillaa tɛɛ.. (後略)

でも 君 未然形 受ける 事 選択 させる 参加 チーム 選手 けど (84)

- (12) 許してもらえるのはたぶん幸福なことなのだろう。(冷静：149)

kaan dâiráp kaan hâiaphai nán nâacà pen khwaamsùk yàaŋnuŋ (139)

事 受け取る 事 許す その はず 繫辞 幸せ 一種

- (13) おかげで、真子からも「美加にしちゃいいセンスだ」と、誉めてもらったが (ふたり：78)

dúai khwaamchûailúá nán mika cuŋ dâiráp khamchom càak maasaako (後略) (66)

おかげで 事柄 援助 その 美加 だから 受ける 誉め言葉 から 真子

- (14) 「いいさ」と北尾は笑って「ラストだと拍手してもらえる。(後略)」(ふたり：114)

mâipenrai ròok kitao hǔaró thîilòo màkcà dâiráp sǎŋ pròpmuu samǎə (93)

大丈夫 よ 北尾 笑う ビリ よく 受ける 声・音 拍手 いつも

(15) (前略) 博士のいないノートを譲ってもらったのだ。(博士 : 223)

rúut **dâiráp** **booricàak** samùtnóot mâi cháí léew càak dóktêe (151)

ルート もらう 寄付 ノート 否定形 使う もう から 博士

(11) と (12) のように「X **dâiráp** + 動名詞 **càak** + Y」は田中 (2004) で指摘されたように、「**dâiráp**」受け取るという本動詞の後に「**kaan**」(事) または「**khwaam**」(事柄) といった名詞化接頭辞を用いてそれらの表す行為を受けるという意味で「～テモラウ」文に対応すると指摘できる。「X + **dâiráp** + 動名詞」は文の構成上、最も受動受益的「～テモラウ」文に対応する表現だと考えられる。X は動作の受け手であり、出発点・起点を表す前置詞の「**càak**」の後に付く Y は動作の与え手となる。「X **dâiráp** + 動名詞 **càak** + Y」形式と共起する動詞は次のようなものに限られる⁽⁴⁾

「**dâiráp** + **kaan**」: líangduu (育てる)、duulee (面倒を見る)、tônrap (もてなす)、nénam (紹介する)、yoomrap (認める)、tittòo (連絡する) (選ぶ) anumát (認可する)、sanàpsanŭn (支援)、yinyoom (承諾する)、khûnjəndwan (昇給する)、lúantamnéəŋ (昇級する)、praməənkhaa (評価する) sanəəchuŭw (ノミネートする) 等

「**dâiráp** + **khwaam**」: enduu (可愛がる)、chûailŭa (助ける、援助する) wâiwaancai (信用する)、rúammwuu (協力する) khúmkhroŋ (保護する) hěenchôp (合意する)

更に (13)、(14) では「X **dâiráp** + 名詞 **càak** + Y」という形で使われ、それぞれ、「誉め言葉/拍手の音」を「受け取った **dâiráp**」という意味を構成している。その他に、「アドバイスしてもらった」、「励ましてもらった」、「プレゼントしてもらった」という場合も、それぞれ「**dâiráp kham nénam**」(アドバイスの言葉を受け取った)、「**dâiráp kamlaŋcai**」(励まし/応援を受け取った)、「**dâiráp khǝŋkhwǎn**」(プレゼントをもらった) という「X **dâiráp** + 名詞 **càak** + Y」「**dâiráp** + 名詞」の形式で表すことができる。その他、(15) のように、「**dâiráp** + 動詞」という形式で表されることもあるが、chəen (招待する)、môopmăai (任せる) booricàak (寄付する)、lúak /khát lúak (人選する、選出する)、raaŋaan (通報する・報告する)、cêəŋ (知らせる)、anuyâat (許可する) 等、共起する動詞は限られている。

上記のタイ語表現「X **dâiráp** + 動名詞/名詞/動詞 **càak** + Y」は、いずれも日本語と同じく受け手である主語の視点による行為や事態を描写しているが、同じ事柄でもタイ語では、与え手と受け手の観点を入れ替えて表現することができる。つまり、立場を入れ替えて動作主の与え手が表現主体として述べる「Y + 動詞」という能動文を用いる事が可能である。例えば (11) の「誉めてもらった」に対応するタイ語「X **dâiráp khamchom càak** + Y」(直訳 : X は Y から誉め言葉を得た、賛辞を得た) は、受け手の主語と動作主の観点を入れ替え、客観的な事実志向である「Y

chom X」(Y は X を誉めた)のように表現することができる。タイ語では受動文の「dâiráp」と能動文では意味上の差異が感じられず、どちらの表現を用いるかは話し手の視点による。

タイ語の「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」は形式的にも意味的にも、受動受益的「～テモラウ」文と同様であるが、タイ語ではこの表現に共起する動詞が限られている上に、全ての「～テモラウ」文が必ず「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」をいう表現を用いるわけではない。更に、「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」は「～テモラウ」文にあえて対応させた翻訳調の文であって、タイ語として少々不自然な文になることがある。

4.3 「Y+動詞 hâi X」

受動受益的「～テモラウ」文は「Y+動詞 hâiX」という形式に対応する事がある。この形式は既に田中(2004)によって指摘され、「動作行為の与え手と受け手側の変換」とされている。行為の受け手である主語に話し手の視点が置かれる「～テモラウ」文に対して、タイ語では行為の与え手である動作主を主語にして、その動作主に視点が置かれる。そのため、「～テモラウ」文をタイ語に訳すと「動作主+動詞+hâi」というように文の構造と意味が変更されてしまう場合が多く見られる。これは言語表現の発想様式において行為の自立的な「恩恵の帰着点」よりも他立的な「恩恵の始発点」の側からの表現が優先されるという特徴を表わしている(田中 2004: 261)。このように「恩恵の始発点」側からのタイ語の表現は、むしろ「～テモラウ」よりもむしろ「～テクレル」の方がより近い表現である。

- (16) こんなすばらしいお祝いをしていただいて大変光栄です。(日タイ口語辞典: 306)

rúusùk penkiat yàanyîŋ thîi thúkthân càt naan chalŋon hâi yàanrŭurǎa chên ní
感じる 光栄 非常に 関係代名詞 皆様 催す 式 祝う くれる 立派に こんなに

- (17) 「前略。あなたにルートというあだ名を付けてもらいました。(後略)」(博士: 214)

dóktêo tâŋchûu hâi khǎw wâa rúut. (145)
博士 命名 くれる 彼 補語 ルート

- (18) 濡に切ってもらってなかったら、もっとひどい傷を残していたかもしれない。(いま: 276)

thâahàakwâa mâichâi phró mio tát hâi pàanníi khon klāaipen phlěwèwà léew (202)
もし 否定 から 濡 切る くれる 今頃 だろう 変化 傷 ひどいもう

- (19) 伯母さんからの誕生日プレゼントだったんだ。生まれて初めて買ってもらったシャープペンシル (いま: 276)

nîi pen khŋŋkhwǎn wankhœt càak khunpāa nà. nîi pen dīnsŋkòt thēŋ
これ 繫辞 プレゼント 誕生日 から 伯母 終助詞 これ 繫辞 シャープペンシル 類別詞
rêek nai chíiwít phŏm thîi pāa súu hâi
初めて 中 人生 僕 関係代名詞 伯母 買う くれる

- (16) ～ (19) のタイ語表現は、主語が動作の受け手から与え手になり、「動作主が～てくれ

る」というような意味に変化してしまう。タイ語は受動文より能動文を使用する傾向があるため、動作主を主体として、動作主の視点から事態を描写する。よって、(16) のように日本語では動作主が言及されていないが、タイ語に翻訳する場合、動作主を明示する必要がある。そのため、日本語をタイ語に訳した際に (16) のように「thúkthâan」(皆) を動作主として明示する事がある。更に、「Y+動詞 hâi X」形式には、「助ける、手伝う、補助する」という意味がある「chûai」を本動詞の前に添えた「Y+chûai 動詞 hâi X」という形で受益の意味を強める場合も見られる。

「Y+動詞 hâi X」形式については Banjop Panthumetha (1971: 171) では「khǎn (書く) + hâi」「sákphâa (洗濯する) + hâi」のように本動詞の後ろに置かれる「hâi」は動作主がその行動をしてあげる、または相手の代わりに行うという意味を持つと説明している。Vipas Pothipath (1999:62) では本動詞の後ろに置かれる「hâi」は、「渡す」「送る」などの移動動詞と共に起する場合に間接目的語の受け手を示すが、「読む」「書く」等の動詞に後接する場合は、間接目的語を示すのではなく、動作主の行為による受益者を示すマーカーとして用いられ、「hâi」の後に、代行される者や恩恵の受け手が置かれることがあるが、話し手と恩恵の受け手が同一人物である場合や文脈から明確に判断できる場合は「hâi」の後置の受け手が省略可能だとしている。

「Y+動詞 hâi X」は動作主の行為が他の人に利益や恩恵を与えるということを表し、動作主に話し手またはその身内の人が来ないという「～テモラウ」文の持つ受け手と与え手の人称制限がないため、「Y+動詞 hâi X」は受動受益的「～テモラウ」文のみならず、「～テアゲル」文および「～テクレル」文にも対応できる。よって、相手から好意的な行為を得る場合は、同じ形式で表されるために、受動受益的「～テモラウ」文と「～テクレル」文の相違をタイ語の文面で明確に表示すること事が困難である。そのため、タイ人日本語学習者が相手の行為から恩恵を受けて表現する際には、タイ語の発想の影響を受けるため、受動受益的「～テモラウ」文より母語に近い構造をしている「～テクレル」文を選択してしまう傾向が見られる。

「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」形式と同様に、「Y+動詞 hâi X」形式も全ての受動受益的「～テモラウ」文に当てはまるわけではなく、共起する動詞が限定されている。「Y+動詞 hâi X」形式とともに使用可能な動詞は以下のように考えられる。

「Y+動詞 hâi」: sôm (直す、修理する)、sòng (送る、渡す)、aw~maa (持ってくる)、aw~pai (持っていく)、hǎa (探す)、bèej (分ける)、sǒn (教える)、khǎn (書く)、triam (用意する)、sài (入れる)、rûapruam (集める)、rǎak (呼ぶ)、àan (読む)、càai nǎn (お金を払う)、khǎai (売る)、súu (買う)、aathibaa (説明する)、pèet (開ける)、pít (閉める)、plian (取り替える)、nénam (紹介する)、chék (チェックする、調べる)、cǒng (予約する) lúak (選ぶ)、tham khwaam saàat (掃除する)、sákphâa (洗濯する)、tham aahǎan (料理を作る)、khǒn khǒng (荷物を運ぶ)、lót raakhaa (値段を安くする)、chûai thamgaan (仕事を手伝う)、

lǎaŋ (洗う)、róŋphleeŋ (歌を歌う)、riaŋ (並べる)、luǎa (残す)、kèp (拾う)、pròpmuu (拍手する) など

4.4 「単一動詞のみ」

今まで考察した受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語の表現は、受益的な意味を表す形式を持つが、形式としては現れない「単一動詞のみ」の場合も見られる。

- (20) 帰り道もルートは博士におんぶしてもらった。(博士：113)

khǎaklǎp dòktǎe bèek rúut khuŋ lǎŋ pai talòt thaŋ (78)

帰り道 博士 背負う ルート 上る 背中 行く ずっと 道

- (21) 彼の名前は変わっているから、みんなにすぐ覚えてもらえる。(使い分け辞典：185)

chúu khǒŋ kháw plèek pai càak thūapai thúkkhon læi cam dāi naithanthii

名前 の 彼 珍しい 行く から 一般 皆 だから 覚える できる すぐ

- (22) 「秋葉さんの事は好きです。色々な所に連れて行ってもらって、それは嬉しかったし、楽しかったんです。」(ルージュ：221)

chán chǒp khun aakiba khā dīicai lé sanùk dūai weelaa khun phaa pai nǎi tòonǎi

私 好き 秋葉さん 丁寧辞 嬉しいそして楽しい も 時 あなた 連れて 行く 色々な所

(197)

- (23) 「ごめんなさいね。せっかく来ていただいたのに、お茶も出してあげられなくて」(ふたり：151)

khǒthòt ná khā. usāa maa yīam théethée yaŋ hǎa náamchaa maa

ごめんなさい 終助詞 丁寧辞 せっかく 来る 訪ねる まさに まだ 探す お茶 来る

tònráp mǎidāi læi (191)

もてなし できない 全然

- (24) 命を助けてもらったので、あの人には頭が上がらない。(日タイ口語辞典：19)

chán rúsuuk pen nībunkhun kháw yàaŋthūmthón phró kháw chúai chíiwít chán

私 感じる 繁辞 恩義 彼 大いに なぜかという と 彼 助ける 命 私

- (25) もっと喜んでもらえと思ったんだけど、彼女はいたずらを見つけた子供みたいにうろたえていた。(いま：117)

phǒm nuúk wāa thəe cà dīicai kàp phǒm sá iik (93)

僕 思う と 彼女 未来形 嬉しい と 僕 (nuúk wāa ～sá iik：思っていた)

これらの例のように、特別な形式を用いず、単に「Y+動詞」という形式で受動受益的「～テモラウ」文が訳される場合がある。対応するタイ語表現から見れば、事実のみ述べられている。さらに (20) ～ (25) と同様に「単一動詞のみ」という形式で受動受益的「～テモラウ」文に対応するが、(26)、(27) のように動作主の視点で表現される「Y+動詞」ではなく、受け手の視点か

らその事態を描写される「X+動詞」という形式で表す場合がある。

(26) 「そう言ってもらえると嬉しいね」(忙しい花嫁：105)

phǒm diicai thii dāiyin chēnnán (タイ語訳：77))

僕 嬉しい関係代名詞 聞こえる そのように

(27) せっかく与えてもらった障害を活かしきれていない (五：200)

phǒm mǎidāi cháiprayòot khǒng khwaamphikaan thii dāiráp tittua maa (191)

僕 していない 生かす の 障害 関係代名詞もらう 身に付く 来る

(26) の「言ってもらえる」ではタイ語になると、「聞こえる」という意味で表される。(27) も同様に、「与えてもらう」ではタイ語に訳されると、「もらう・受け取る」と言い換えられる。つまり「言う・聞こえる」、「与える・受け取る」のように反意語を用いて表すと思われる。タイ語ではこのように同じ事柄を誰の視点によって語ったかによって反意語を表す場合がよく見られる。

日本語では一般に話し手が恩恵を受けた場合はそれを「～テクレル」文や「～テモラウ」文で言語化することが文法上義務的である。しかし、対応するタイ語ではその事態が事実として客観的に述べられる場合が多い。よって「～テモラウ」文が含意している受益性をタイ語の文の中に明確に反映させるのは困難である。受益の意味を明示するには「khòopkhun」(ありがとう)を加えたり、わざわざという意味を持つ「usàa」を添えて、相手がわざわざ行為を施してくれたというありがたい気持ちを強調して、恩恵を受けたことを表面化する場合もあるが、その受益的な意味は文全体や文脈から解釈させ、暗に表す場合もある。こうして、このように両言語における意味上に差異が感じられ、それが両言語の特徴だと考えられる。上記の考察から、タイ人日本語学習者が恩恵を受けた際に「～テクレル」や「～テモラウ」を用いない原因として、単一動詞で表現するタイ語から直訳をしてしまうために、その母語の影響を受けて授受補助動詞を使用することまで配慮が行き届かないということが予測できるであろう。

「単一動詞のみ」になる受動受益的「～テモラウ」文の前項動詞は次のようなものがある。

「Y+動詞」：khâwcai (分かる、理解する)、bòok (伝える、言う)、maa (来る)、diicai, yindii (喜ぶ)、tuan (注意する)、cam (覚える)、maa yíam (お見舞いに来る) khâwmaa phûutkhui (話しかける)、chuan (誘う)、líang khâaw (ご飯を奢る)、hâi yuum (貸す)、hâi duu (見せる)、pen hùang (心配する) phaa pai (連れて行く)、phaa maa (連れて来る) yoomráp (受け入れる) pen phúan khui (話し相手になる)、rɔɔ (待つ)、caidii (親切にする)、tittòo (連絡する)、chia (応援する)、hâikamlancai (勇気づける)、thákthaa (挨拶する)、chumnum、ruamtua (集まる)、rák (愛する)

5. おわりに

受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語表現を検討した。その結果、前項動詞によって使われる表現が次表3のように異なることが明らかになった。

表3 受動受益的「～テモラウ」文に対応するタイ語表現のまとめ

対応するタイ語の表現	特徴	動詞の一例
(1) 「X dâiráp～càak+Y」	受動受益的「～テモラウ」文をタイ語に直訳した形。文の構造は最も近いが、共起する動詞が限られている。	
①dâiráp+動名詞	dâirápの後に「kaan」(事)と「khwaam」(事柄)を動詞の前につけて名詞句化して表すということが構成的な特徴。使用できる動詞がかなり限られている。	「dâiráp+kaan～」: 育てる、面倒を見る、もてなす、信用する、紹介する、支援する、昇給する、昇級する
		「dâiráp+khwaam～」: 可愛がる、信用する、助ける、援助する、協力する、保護する、合意する
②dâiráp+名詞	dâirápが本動詞として使われる。	誉める、アドバイスする、励ます、プレゼントする
③dâiráp+動詞	共起する動詞が限られている。	招待する、寄付する、任せる
(2) 「Y+動詞 hâi X」	与え手と受け手の位置が交換され、「動作主が～てくれる」という文型及び意味に変化してしまう。	直す、持ってくる、持っていく、持つ、修理する、送る、用意する、教える、読む、探す、分ける、洗濯する、呼ぶ
(3) 「単一動詞のみ」	事実のみ述べ、利益・恩恵を受ける意味が明確に反映されていない。	理解する、分かる、来る、伝える、言う、話しかける、誘う、奢る、貸す、覚える、心配する、連れて行く

分析をまとめると以下のようになる。

(1) 「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」形式は受け手である主語が受動的に恩恵的な行為を受けたと解釈され得るため、構文上や行為の方向性は受動受益的「～テモラウ」文と同様であり、最も対応性が高いが、全ての動詞において使われる生産的な形式ではないという制約があり、適格な使用範囲が限定されている。

(2) 「Y+動詞 hâi X」形式は文の構造からすると、「～テモラウ」文と人物の位置が逆になり、行為の方向性も意味上もむしろ「～テクレル」文のほうに近い対応表現である。「～テモラウ」文も「～テクレル」文も同じ「Y+動詞 hâi X」で表される場合が多いため、両構文の相違はタイ語の文面で明確に示す事が困難である。更に、「～テモラウ」文のように話し手の視点と人称制限の制

約がないため、「Y+動詞 hâi X」形式も「～テアゲル」に対応できる。共起して用いられる動詞の観点から見ると「X dâiráp+動名詞/名詞/動詞 càak+Y」形式より、「Y+動詞 hâi X」形式のほうが幅広く用いられる。

(3)「単一動詞のみ」形式は、受益を示す標識は特になく、単に「与え手である動作主+動詞」または「受け手である主語+動詞」という事実を客観的に述べる言い方である。文面には受益の意味が明確に示されていないタイ語であるが、意味上では「～テモラウ」文との違いを文脈によって解釈することは可能である。

同じ内容を言語化した時、それが対応関係をなすものと認められるものの、両言語の文面上や意味上ではやはりまだ隔たりがあり、同定することが困難な事もある。また、対応するタイ語表現では日本語に顕在している恩恵性・受益性を文面上で明示的に表示できないことが明らかになった。日本語では恩恵的な行為を受け取れば、義務的にその受益性を伝達しなければならないのに対し、タイ語では中立的かつ客観的に事実だけを表現する点が、それぞれの言語の特徴だと考えられる。

今後は、「～テクレル」文に対応するタイ語表現の考察も含め、違いを比較して更に詳しく考察を含めていきたい。

注

(1) タイ語では「～テモラウ」と「～テイタダク」の相違を文面上では明確に表せない。そこで、本稿では「～テモラウ」と「～テイタダク」を一律に扱う。

(2) 用例の出典は、タイ語訳の用例はページのみ表示し、以下のように示す。

- ① (忙しい) ⇒ 赤川次郎 (1986) 『忙しい花嫁』 角川書店
สมเกียรติเชวงกิจวัฒน์ แปล (2547) เจ้าสาวจำแลง สำนักพิมพ์ ส.ส.ท
- ② (いま) ⇒ 市川拓司 (2003) 『いま、会いに行きます』 小学館
น้ำทิพย์ เมธเศรษฐ แปล (2548) แล้วฉันจะกลับมา สำนักพิมพ์เจเน็ค
- ③ (五) ⇒ 乙武洋匡 (1998) 『五体不満足』 講談社
พรอนงค์ นิยมค้า แปล (2547) ไม่ครบห้า สำนักพิมพ์ ส.ส.ท
- ④ (ふたり) ⇒ 赤川次郎 (1991) 『ふたり』 新潮文庫
อิโรกะ ลิมวิภูวัฒน์ แปล (2546) พี่น้องสองมิติ สำนักพิมพ์เจเน็ค
- ⑤ (博士) ⇒ 小川洋子 (2005) 『博士の愛した数式』 新潮社
อัษฎา-น้ำทิพย์ เมธเศรษฐ แปล (2547) ดอกเตอร์กับรูปและสูตรรักของเขา สำนักพิมพ์เจเน็ค
- ⑥ (ルージュ) ⇒ 柳美里 (2001) 『ルージュ』 角川書店
อิโรกะ ลิมวิภูวัฒน์ แปล (2546) รักหลงเงา สำนักพิมพ์เจเน็ค
- ⑦ (冷静) ⇒ 江國香織 (1999) 『冷静と情熱のあいだ Rosso (ロッソ)』 角川書店
ขวัญใจ แซ่คู แปล (2545) ร้อนแรง สำนักพิมพ์เจเน็ค

- (3) 「～テクレル」文は無意志動詞と共起可能であり、動作主の性質の制約がなく、有情物・無情物の何れも成立する。「～テクレル」文については堀口 (1987) 山田 (2004) などを参照。
- (4) 「dâiráp」受動文は受動型的テモラウ文に対応する他、日本語の受身の「招待される」「選ばれる」「任せられる」にも対応できるが、「dâiráp」受動文が利益の意味か損害の意味かは、共起する動詞の意味や文脈で判断する場合が多い。「招待される」「選ばれる」「任せられる」等が損害的受身である意味を明示したい場合はむしろ被害を表す受動標識の「thùuk」を用いたほうが適している。タイ語の受身文については、田中 (2004) を参照

参考文献

- 奥津敬一郎・徐昌華 (1982) 「「～てもらう」とそれに対応する中国語表現」『日本語教育』46号、pp.92-104
- 江田すみれ (1982) 「てやる・てくれる・てもらう」とタイ語の表現—hâiの用法に注目して—」『日本語教育』49号、pp.119-132
- スチワロドム、シリラック (2009) 「テモラウ文の意味・用法について一意図性がある場合—」『日本語日本文学』第5号 学習院大学大学院、pp.46-65
- 高見健一・加藤鉦三 (2003) 「受益表現の新展開 (5) 「～てくれる／もらう」表現の基本的意味」『月刊言語』32 (5)、pp.96-101
- 高見健一・加藤鉦三 (2003) 「受益表現の新展開 (6・最終回) 「～てくれる」と「～てもらう」の相違」『月刊言語』32 (6)、pp.96-101
- 田中寛 (2004) 「授受表現をめぐる日タイ語対照研究」『統語構造を中心とした日本語とタイ語の対照研究』ひつじ書房、pp.241-272
- 富田竹二郎 (1990) 『タイ日辞典』養徳社
- 山田敏弘 (2004) 『日本語のベネファクティブ—「てやる」「てくれる」「てもらう」の文法』明治書院
- 李仙花 (2001) 「「てもらう」文の意味について」『言語科学論集』5 東北大学大学院文学研究科、pp.97-108
- บรรจบ พันธุเมธา. (2514) ลักษณะภาษาไทย. กรุงเทพมหานคร : โรงพิมพ์คุรุสภา
- ปราณี จงสุจิตรธรรม แปล (2540) พจนานุกรมการใช้คำภาษาญี่ปุ่น 『日本語学習使い分け辞典』สำนักพิมพ์ ส.ส.ท
- ปราณี จงสุจิตรธรรม แปล (2544) พจนานุกรมภาษาพูดญี่ปุ่น-ไทย 『日タイ口語辞典』สำนักพิมพ์ภาษาและวัฒนธรรม
- ราชบัณฑิตยสถาน (2525) พจนานุกรมไทย ฉบับแก้ไขปี 2542
- วิภาส โพธิแพทย์. (2542) หน่วยสร้างการிடแบบวิเคราะห์ในภาษาไทย วิทยานิพนธ์หลักสูตรปริญญาโทบัณฑิต คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย